

報道関係者各位

2017年12月19日
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ
日経テクノロジーオンライン/リアル開発会議

ジェイテック スタートアップ

期待の国内技術系ベンチャー企業「J-TECH STARTUP」認定7社が決定

認定企業のプレゼン&展示を2/1 13:30より開催

日本環境設計株式会社 岩元 美智彦氏が特別講演に登壇

国内最大級の技術系ベンチャー企業支援組織『TEP』（正式名称：一般社団法人TX アントレプレナーパートナーズ、代表理事：国土 晋吾）と、製造業／ハイテク産業に携わる技術者・研究者・製品企画者向け総合技術情報サイト『日経テクノロジーオンライン』、および異業種連携推進プラットフォーム『リアル開発会議』は、日本を代表する技術系ベンチャー企業を表彰する、「J-TECH STARTUP 2017（ジェイテック スタートアップ）」の認定企業が決定したことを発表いたします。

2017年度は、日本トップレベルの技術が集積する各研究機関・支援組織からの後援も得て、ロボット、バイオテクノロジー、ヘルスケアなど幅広い分野の技術系ベンチャー企業が集まりました。2018年2月1日には、霞が関ビルディングの31 Builedge 霞が関プラザホールにて、認定企業のプレゼンテーションおよび認定証授与を行う「第2回 J-TECH STARTUP SUMMIT」を開催致します。



■J-TECH STARTUP 2017 認定企業 ※ABC順、各社の詳細は3ページをご確認ください

<シード枠>

ベンチャーキャピタル等からの出資前の企業。エンジェル出資、クラウドファンディングからの資金調達を受けている企業、および起業予定者

- ・ ArchiTek 株式会社 (エレクトロニクス・ロボット分野)
- ・ NUProtein 株式会社 (バイオテクノロジー・農業分野)
- ・ Plimes (医療・ヘルスケア分野)

<アーリー枠>

ベンチャーキャピタル等から出資を受けており、資本金1億円未満かつ従業員数50名以下の要件を満たす未公開企業

- ・ メディギア・インターナショナル株式会社 (医療・ヘルスケア分野)
- ・ 株式会社メトセラ (医療・ヘルスケア分野)
- ・ SEQSENSE 株式会社 (エレクトロニクス・ロボット分野)
- ・ 株式会社セツロテック (バイオテクノロジー・農業分野)

■日本の Deep Tech ベンチャーをグローバルに送り出すシンポジウム

「第2回 J-TECH STARTUP SUMMIT」2月1日（木）開催

日本の先端技術分野は世界をリードしており、海外のグローバル企業も高い関心を日本に寄せています。一方で、Deep Tech（コア技術）の事業は、理解が難しく、製品化までに時間とコストがかかるため、投資等のサポート体制は十分ではありません。

今回、『TEP』、『日経テクノロジーオンライン』、および『リアル開発会議』は、日本の技術系ベンチャー企業を世界に送り出すことを目的としたシンポジウム「第2回 J-TECH STARTUP SUMMIT」を2018年2月1日（木）に開催いたします。イベントでは Deep Tech ベンチャー企業を「J-TECH STARTUP 2017」として認定、紹介を行ない、サポート体制を確立するために必要なことを議論していきます。また日本環境設計株式会社代表取締役会長の岩元美智彦氏による特別講演および、パネルディスカッションも行います。本イベントを通じて、大企業や支援組織とのネットワーキングを行い、技術系ベンチャー企業成長のためのエコシステム構築を目指します。

■「第2回 J-TECH STARTUP SUMMIT」開催概要

- ・開催日時：2018年2月1日（木）開演 13:30～（受付開始 13:00）
- ・場所：3 1 Builedge 霞が関プラザホール（東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 1階）
- ・プログラム
 - 13:00 受付開始
 - 13:30-13:40 開演挨拶
登壇者：国土晋吾氏（TEP 代表理事）
中道理氏（日経 BP 社 リアル開発会議 編集長）
 - 13:40-14:50 J-TECH STARTUP 2017 プレゼンテーション
 - 14:50-15:05 認定式
 - 15:05-15:20 休憩
 - 15:20-16:20 特別講演
登壇者：岩元美智彦氏（日本環境設計株式会社代表取締役会長）
 - 16:20-17:00 パネルディスカッション
登壇者：岩元美智彦氏（日本環境設計株式会社代表取締役会長）
国土晋吾氏（TEP 代表理事）
中道理氏（日経 BP 社 リアル開発会議 編集長）
 - 17:00-18:00 懇親会
- ・展示：「J-TECH STARTUP 2017」認定企業の技術系ベンチャー企業による展示ブースがあります
- ・参加費：2,000円（税込）
- ・参加申込：Peatix <https://peatix.com/event/331544/>
- ・共催：TEP（TX アントレプレナーパートナーズ）、日経テクノロジーオンライン、リアル開発会議
- ・後援：経済産業省関東経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、国立研究開発法人新エネルギー 産業技術総合開発機構（NEDO）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

・登壇者プロフィール

岩元 美智彦（日本環境設計株式会社 代表取締役 会長）

1995年、容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わり、2007年1月、現取締役社長の高尾正樹とともに日本環境設計を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけでなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組む。2015年アショカフェローに選出。著書『「捨てない未来」はこのビジネスから生まれる』（ダイヤモンド社）。

国土 晋吾（TEP 代表理事）

1984年よりインテルジャパン株式会社の研究、製品開発、マーケティング部門に勤務。1997年に共同創業者として NuCORE Technology Inc. を米国シリコンバレーで創業、同社副社長兼日本法人の代表取締役に

就任。2008 年よりメディアテックジャパン株式会社の新規事業開発担当執行役員を務める。2014 年 4 月より技術系ベンチャー支援団体である一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) の代表理事に就任。TEP 支援の技術系ベンチャー企業の取締役や相談役も務める。

中道 理 (日経 BP 社 日経 BP 総研 クリーンテック研究所 上席研究員 兼 リアル開発会議 編集長)

1997 年、日経 BP 社入社。パソコン技術の専門誌『日経バイト』記者、通信業界の専門誌『日経コミュニケーション』記者、電子電機業界の専門誌『日経エレクトロニクス』記者、『日経エレクトロニクス/日経テクノロジーオンライン』副編集長を経て、2017 年 1 月よりリアル開発会議編集長。リアル開発会議では、会社の壁を越え、志を同じくし、対等の立場で本気に新規開発を進められる場作りを行っている。

■ 「J-TECH STARTUP 2017」認定企業

認定企業は事業の革新性、経済的な規模、社会的影響力、事業の実行力を基準に選出されました。

<シード枠>

ArchiTek 株式会社	エレクトロニクス・ロボット分野	http://www.architek.co.jp/
リアルタイムで高度な画像・AI 処理を行う先端部品の開発		
NUProtein 株式会社	バイオテクノロジー・農業分野	http://nuprotein.jp/
コムギ胚芽を用いた無細胞タンパク質合成試薬の研究開発、製造・販売		
Plimes	医療・ヘルスケア分野	-
ものを飲み込む嚥下 (えんげ) を AI で定量評価を行ない、口から食道に入るべきものが気管に入る誤嚥 (ごえん) リスクを軽減するプロダクトの開発		

<アーリー枠>

メディギア・インターナショナル株式会社	医療・ヘルスケア分野	http://www.medigear.co.jp/
がん腫瘍の周囲を包囲し、がん細胞への酸素・栄養供給を遮断し抗腫瘍効果を得る治療法を実現するナノデバイスの開発		
株式会社メトセラ	医療・ヘルスケア分野	https://www.metcela.com/
特定の線維芽細胞群を利用し、心不全向けの新たな再生医療等製品の開発		
SEQSENSE 株式会社	エレクトロニクス・ロボット分野	https://www.seqsense.com/
自律移動ロボットとクラウド技術を融合した次世代の警備ソリューション・サービスの提供		
株式会社セツロテック	バイオテクノロジー・農業分野	http://www.setsurotech.com/
高効率ゲノム編集技術を活用したゲノム編集マウス・ブタの作製と医療・畜産分野への応用化事業		

■ 「J-TECH STARTUP」創設の趣旨

インターネットを使った SNS や EC サイト、ゲームなど様々なサービスが、我々に多くの利便性や新たな価値を生み出しています。それらを実現するアプリケーションは、比較的短期間で製品開発が可能で、日本でも成功例や支援方法が確立されつつあります。一方、それらを支える基幹技術である高速通信や AI エンジン、CPU/GPU 技術などに代表される Deep Tech (コア技術) は、裏方的で理解が難しく、製品化までに時間と人的リソースが多くかかります。そのため、事業化リスクが高く投資等のサポート体制は十分とは言えません。

しかし、基幹技術である Deep Tech なくしてアプリケーションは成り立ちません。アプリケーションと Deep Tech は車の両輪であり、相互の発展によって真の価値や利便性を社会にもたらす事が出来ます。この様なことから、シリコンバレーでは近年、サービス系技術を提供する会社への集中的な投資から、AI、IoT、バイオ、宇宙などの Deep Tech への投資が積極的に行われるようになってきました。

日本は iPS 細胞を活用した再生医療、ナノ材料等の先端材料、二足歩行ロボットなどの先端技術分野で世界をリードしており、海外のグローバル企業も高い関心を寄せています。

「J-TECH STARTUP SUMMIT」は、半導体などのハードウェアだけではなく、ドローンや Industry4.0 に

不可欠な組み込み型ソフトウェア、クラウド上の画像認識・解析エンジン、Deep Learning 等の AI 技術、IoT を支えるセンシング技術、核酸薬やバイオ燃料などのバイオ技術、自然エネルギーを使った発電や蓄電技術、再生医療や臨床技術、先端材料やその量産化技術、メカトロニクス技術など、広義の Deep Tech に焦点を当て、その重要性に注目し、Deep Tech ベンチャー企業のサポート体制を確立するために必要なことを議論していきます。

■ 「J-TECH STARTUP 2016」認定企業

昨年の「J-TECH STARTUP 2016」に認定された企業は、以下の 8 社です。

- ・ オリガミ・イーティーエス合同会社（ソフトウェア分野）
- ・ 株式会社オリゴジェン（メディカル分野）
- ・ 株式会社クァンタリオン（エレクトロニクス分野）
- ・ 株式会社 Xiborg（メカトロニクス分野）
- ・ 株式会社 Spectee（クラウドエンジン分野）
- ・ 株式会社 チャレナジー（エネルギー分野）
- ・ ティエムファクトリ株式会社（マテリアル分野）
- ・ 株式会社 BONX（組み込み型ソフトウェア分野）

■ 共催：

一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) (<http://www.tepweb.jp/>)

TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) は、日本のトップレベルの技術をビジネス化し社会普及させることを目的とする技術系ベンチャー企業の支援組織です。コア技術を持ち、そのビジネス化を目指すリアルテック・ベンチャー企業を中心に、起業・経営経験が豊富なエンジェル投資家、専門的アドバイスが可能なメンター、ベンチャー企業との連携を望む大手企業らを会員として組成しています。現在は、大学や研究機関、地域行政、そして海外の同様のベンチャーコミュニティにもネットワークを広げており、世界でも有数の技術系ベンチャー企業のエコシステムとなっています。

日経テクノロジーオンライン (<http://techon.nikkeibp.co.jp/>)

日経テクノロジーオンラインは、日経 BP 社が運営する、製造業／ハイテク産業に携わる技術者・研究者・製品企画者向けの総合技術情報サイト。技術系専門記者、外部の専門家、ジャーナリスト等による記事でさまざまな切り口の技術情報を掲載し、新しい技術が他の産業界に与えるインパクトを伝え、新産業/新事業の創出を目指しています。

リアル開発会議 (<http://techon.jp/real/>)

新事業や異業種連携を推進するコミュニティです。オープンイノベーション型の新事業開発プロジェクトとして、幅広い業界の企業が参画できる開発テーマを複数用意し、この指止まれ方式で開発を実践する場を提供しています。また、新事業開発や異業種連携を実践するための教育事業にも取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

第 2 回 J-TECH STARTUP SUMMIT 運営事務局 / E-MAIL : j-tech@tepweb.jp

TEP 広報窓口 森、兪 (ユウ) /

TEL: Story Design house 内 03 6759 8989 E-MAIL : pr@storydesign-h.com